



第 90 号

平成 24 年 9 月 6 日
発行
本荘由利森林組合
由利本荘市水林 381
TEL 0184 24 4141(代)
FAX 0184 24 4143

木材流通センター 由利本荘市西目町沼田字新道下 1019 1 製材工場『木香里』 由利本荘市西目町沼田字新道下 1020 1
TEL0184 32 1088 FAX0184 32 1089 TEL0184 32 1080 FAX0184 32 1081

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp



高等学校就職支援セミナー
(7月11日 矢島高校)

連絡員会議

7月13日(金)西目シーガルで連絡員114名、役員23名のほか、由利地域振興局森づくり推進課長以下3名のご出席をいただき連絡員会議を開催しました。

組合から年間事業計画や森林経営計画と造林補助事業の概要、木材価格や製材工場の稼働状況などの報告を行いました。



質疑応答では、連絡員から「施設計画から経営計画への変更点を周知してほしい」「このままでは補助が受けられない心配がある」など、森林経営計画についての質問があり、組合や振興局担当者が現状と対応について説明しました。

役員視察研修

7月18日、20日の3日間、和歌山県日高川町で役員視察研修を行いました。

日高川町は、日高川流域に東西に細長く位置し、面積の約90%を森林が占め、豊富な資源を活かした産業への取り組みを指しています。



温泉施設(愛徳荘)支配人の説明



温泉施設(中津荘)パウダーボイラー見学



町担当者との勉強会



県森連パウダー施設生産

視察では、同町が全国に先駆けて導入している木質パウダーボイラーを利用した温泉施設や、和歌山県森林組合連合会の木質パウダー生産施設を見学し、各施設担当者や同行した機器メーカーと熱心な話し合いを行いました。

組合員研修

岩城支所

8月2日(木) 組合員23名が参加して矢島町新荘地区、鳥海町大倉沢地区の施業集約化予定地と、千本カツラを視察しました。

間伐や作業道開設事業について視察をした後、岩城地区の昨年度搬出事業実績と今後の集約化について説明を行いました。



矢島町新荘地区山林



千本カツラ

林業研究会視察研修

7月26、27日、林業研究会の視察研修が行われ、セイホク株式会社工場、石巻地区森林組合(宮城県)、住田町(岩手県)を視察しました。



セイホク工場

太平洋沿岸地域は昨年の震災により木材関連工場が損壊するなど大きな被害があった地域です。視察では、地域林業の特徴や取り組みの他に、震災から現在までの復興経緯や現在の状況の説明を受けました。



住田町仮設住宅

子吉川流域林業活性化センター視察研修

8月22日、23日にかけて行われた視察研修では、森づくり推進課、にかほ市、森林組合から計5名が参加して、金田一温泉(岩手県)、上北森林組合(青森県)を訪れました。

金田一温泉は、環境施策推進の為に、チップボイラーを導入して、今年4月から使用を開始しています。

同温泉で開催された木質バイオマスセミナーでは、岩手大学名誉教授沢辺攻氏による講演やボイラー導入の経緯について市担当者の説明を聞きました。



金田一温泉 チップボイラー見学



コンピュータで作業する女性オペレーター

上北森林組合は、総収益の5割を加工部門が占め、毎月事業実績検討会を開いて経営分析や品質管理を行っており、合併当時の赤字を加工部門の増産で3年間で解消した実績があります。加工場では最新型の採材、乾燥システムなど設備と現場を視察し、菅岡加工課係長から経営や事業の取り組みについて説明を受けました。

第18回本荘由利森林組合造林コンクール参加林分募集

参加資格

本荘由利森林組合組合員であること。

(旧由利地域森林組合長会及び本荘由利森林組合主催の造林コンクールで入賞した林分は同一部門に申込みできません)

参加申込期間

平成24年9月1日～平成24年10月15日

参加申込期間

本所、各支所備え付けの参加申込用紙に記入の上、提出してください。

参加林分の基準

平成23年、平成24年度中に施業を実施した林分に限る。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| A 人工林 | A 育成天然林 |
| (イ) 樹種：スギ | (イ) 樹種：広葉樹 |
| (ロ) 面積：0.10ha以上 | (ロ) 面積：0.10ha以上 |
| (ハ) 林齢：植栽後7年以上 | (ハ) 林齢：25年以上 |

参加部門

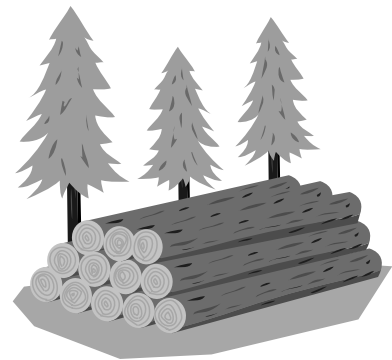
- | | |
|-------------|-----------|
| 第1部 幼齢林の部 | 7年生～9年生 |
| 第2部 枝打ちの部 | 11年生～30年生 |
| 第3部 保育間伐の部 | 21年生以上 |
| 第4部 収穫間伐の部 | 21年生以上 |
| 第5部 育成天然林の部 | 25年生以上 |

審査期間

平成24年10月16日～平成24年12月15日

表彰について

各部門第1位から第3位まで3点づつ



(表紙写真)

7月11日(水)、秋田県立矢島高等学校で「働くとはどういうことか」「森林組合の業務内容」についての講演が行われました。

講演会は、今年度卒業予定の高校生に対して、職業意識と地元企業への関心の向上を目的に、由利地域振興局と矢島高等学校の企画で行われ、情報コース、福祉コースの3年生56名が参加しました。

小松組合長の講演に、生徒からは、「今、しておくべきことは何か」「必要な資格は何か」など積極的な質問がありました。

高等学校就職支援
セミナー開催

～ 組合員の皆様からの林業相談 ～

昨今、森林・林業には“追い風”が吹いたり、“向かい風”が吹いたり。

しかしながら、いかなる情勢に対処するにも、組合員の皆様一人一人の“山”が様々な“風”に耐えうる“強い山”を造っておくことが基本ではないでしょうか。

日頃、組合員の皆様から多くの林業相談が寄せられますが、皆様の山づくりへの思いと熱意に、私たちも勇気をいただいております。

さて、この度、近年（ここ5カ年間）寄せられた林業相談の内容について、まとめましたのでご紹介いたします。

1．相談の項目

相談の内容を区分別に整理すると、スギや広葉樹の育林技術に関すること、森林病虫害などの森林保護に関すること（林地、居住地）、キノコや特用樹などの特用林産物に関すること、その他森林管理などの一般的な事項に区分されます。

さらに、相談の内容を枝打ちや間伐などの施業種別、病虫害獣の種類別、様々なキノコの栽培管理別など、小項目ごとに整理すると全部で112項目に区分されました。

このうち最も多いのが、スギや広葉樹の育林技術関連の相談で、全体の37%を占め、次に多いのが、キノコや特用樹などの特用林産物関連で24%、森林病虫害などの森林保護関連が22%、その他一般的な事項が17%となっています。

しかしながら最近では、里山や居住地における病虫害被害に関する相談が多くなっている傾向にあります。これは、ナラ枯れ被害などへの関心が高まったことや、病虫害被害という緊急を要する事項であることなどによるものと推測されます。

2．よくある相談

それでは、項目ごとに多く寄せられる事項をご紹介します。

スギの育林技術関係では、やはり間伐や枝打ちの方法などに関するものが多く、林地肥培に関する相談もあります。また、広葉樹の育林技術では、植栽に適する樹種や、仕立て方のほか、サクラの管理に関する相談も多くあります。

次に、林地の森林保護関係では、ナラ枯れやマツクイ虫被害に関するもののほか、スギ造林地がぼつんぼつんと枯れる、根元から木くずがでていながらなぜか（コウモリガによる被害）といった相談が代表的です。また、ウサギや野ネズミの被害に関するものもあります。

居住地の病虫害に関する相談では、庭や公園などの松の木の様子がおかしいとか、庭木の葉に虫こぶがついている、葉や枝が黒くなっている（アブラムシ）、逆に、葉や木の肌が白くなっている（カイガラムシ、ウドン粉病）などの相談が多くあります。

次に、特用林産物関係では、自家で栽培しているシイタケやナメコの栽培技術に関するものが多く、マイタケなどのブロックを伏せ込んだが発生しなかったなどです。また、特用樹関係では、クリの栽培に関する相談もあります。

最後に、その他の事項としては、所有界や山林の相続に関するもののほか、造林コンクールに関する相談なども寄せられます。

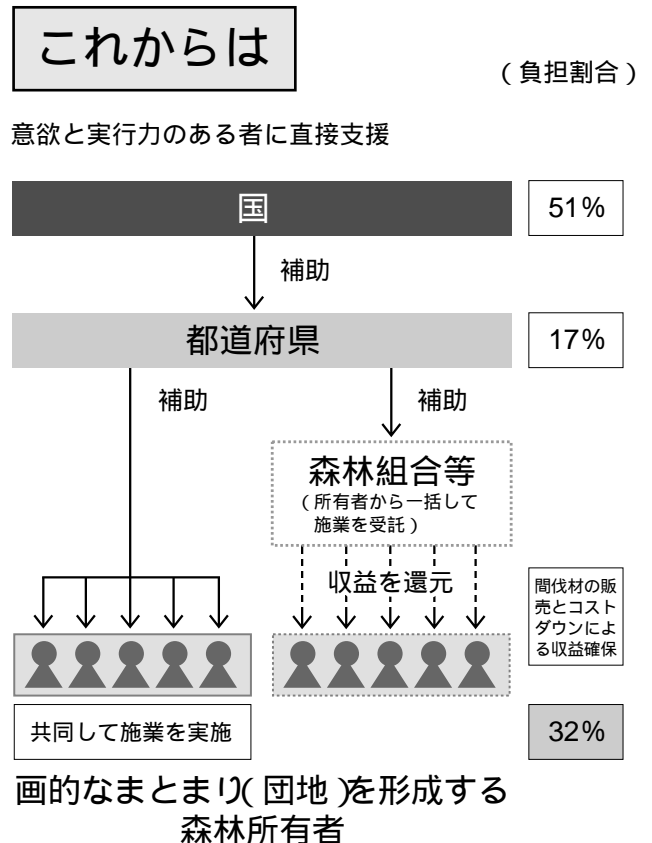
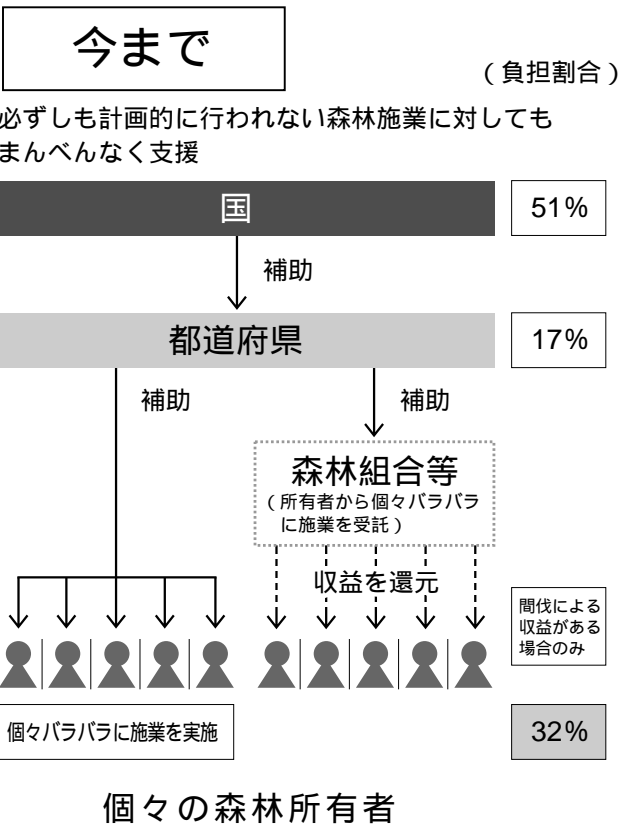
この他、造林補助制度や森林組合の経営などに関する相談もありますが、今回の項目からは除いております。

以上が、林業相談の概要ですが、皆様もいろいろと思いつく事項があるのではないかと存じますので、お気軽にご相談ください。ご紹介した内容は、森林組合のホームページにも掲載しておりますので、是非ご覧ください。

森林環境保全直接支援事業

集約化し計画的な施業を行う者に限定して支援

集約し計画的な施業を行うための「森林経営計画」(平成23年度は森林施業計画)を作成した場合に支援します。



平成24年度 造林補助事業について

1. 今年度の当管内森林整備予算

今年度の当管内森林整備予算は約340百万円（補助金額）となっており、昨年度実績額の約80%の予算となっています。今年度も昨年度同様に組合員のご理解を得ながら予算消化できるよう森林整備事業を推進して参りますのでご協力をお願いします。

2. 補助金を受けるための条件

下記の補助金を受けるためには、「森林経営計画の認定」が必要となります。

森林経営計画に係わる書類（委託契約書、又は委任状）の提出がない方は補助金を受けることができません。

3. 平成24年度 造林事業種別補助金額（森林環境保全直接支援事業）

作業種	対象林齢	採択要件・留意事項等	補助金額（1ha当り）	
			組合作業	所有者作業
植栽	スギ	<ul style="list-style-type: none"> 区分 植栽本数 2,100～2,499本 植栽本数 2,500～3,000本 	648,000 ～745,000	510,000 ～569,000
	マツ		499,000 ～561,000	392,000 ～428,000
	広葉樹A	<ul style="list-style-type: none"> 枯損率 20%未満 再造林、拡大造林の区分無し 広葉樹A：苗高 50cm以上 広葉樹B：苗高 150cm以上 	1,332,000 ～1,588,000	1,048,000 ～1,212,000
	広葉樹B		2,013,000 ～2,428,000	1,585,000 ～1,853,000
下刈	<ul style="list-style-type: none"> 単層林：1～10年生 複層林：1～25年生 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生、2年生～、2回刈の区分無し 	91,000	71,000
雪起こし	2～25年生	<ul style="list-style-type: none"> 雪圧倒伏率30%以上で採択 区域面積×被害率＝実施面積で申請 	181,000	142,000
枝打ち	11～30年生	<ul style="list-style-type: none"> 仕上げ幅 1.2m～9.6m 実施本数 100本～2,500本/ha 	10,000 ～264,000	7,000 ～208,000
除伐A	11～25年生 天然林は60年生まで	<ul style="list-style-type: none"> 伐採本数率 20%以上 過去5年以内に補助金を受領していないこと 刈払率 100%以上 過去5年以内に補助金を受領していないこと 	112,000	88,000
除伐B	又は 平均胸高直径18cm未満			
間伐	11～100年生	<ul style="list-style-type: none"> 伐採本数率20%以上 材積率35%以下 標準単価 10m³～100m³/haで10m³刻み 	70,000 ～448,000	55,000 ～352,000
更新伐	11～90年生	<ul style="list-style-type: none"> 伐採本数率 56%以上 2年経過後、更新完了の確認必要 	110,000 ～671,000	86,000 ～528,000
間伐・更新伐 共通		<ul style="list-style-type: none"> 5ha以上の集約化かつ10m³/ha以上の搬出必要 過去5年以内に補助金を受領していないこと 材積が確認できる納品伝票等、はい積み写真必要 間伐と更新伐あわせて5ha以上で可 		
森林作業道	上記に作業に係わる 作業道の開設	<ul style="list-style-type: none"> 土構造を基本とし、繰り返しの使用に耐えるもの 幅員（2.0m 2.5m 3.0m）、地山勾配で区分 最急縦断勾配 30%（11.9°）/100m以内 出来形管理、写真管理、台帳整備必要 	m当 599 ～1,763	m当 472 ～1,388

木材市況情報 (平成24年)

単位：円、上段(石当り価格)
下段 m³当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	7月3日			8月3日		
			本荘由利木材流通センター			本荘由利木材流通センター		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	16~22	(2,609) 9,395	(2,400) 8,643	(2,473) 8,903	(2,304) 8,296	(2,223) 8,000	(2,263) 8,150
		24~34	(3,254) 11,715	(2,483) 8,991	(3,047) 10,970	(3,231) 11,632	(2,936) 10,572	(3,060) 11,017
出材量・販売量・販売率			778m ³ (2,800石)・601m ³ (2,163石)・77%			1,142m ³ (4,111石)・493m ³ (1,774石)・43%		

7月：単価は弱含みながら、全般に引き合いがあった。
 今後は民有林の出材が減少、国有林の出材が増加し、16~22cmの弱含みが続く予想。
 8月：全体的に当用買いに終始し、特に22cm下は弱含みで応札が少ない。
 製品市況の低迷が続くそうである。

平成24年度 林業相談日

相談員：三浦 光喜

10月	19日(金)
11月	16日(金)
12月	14日(金)

～ 賦課金納付のお願い ～

納付期限が過ぎておりますが、未納の方は早めの納入をお願いします。



～ 各種届出事項について ～

相続や住所移転などによる住所・所在地の変更、及び団体代表者の変更がありましたら所定の用紙により提出をお願いします。
 用紙は各支所備え付けのほか、ご希望の方へ送付いたします。

今後の行事予定

組合まつり

10月21日

各地区組合員研修

9～10月

技術講習会

11月頃



編集後記

組合では「緑のカーテン」としてゴーヤを育てています。

今年はプランター3つに、苗木を植えて始めました。朝夕、水をやり続けて大きな窓3つを覆う位に葉を広げています。

実際、カーテンの効果を期待するには心許ないのですが、通りかかる職員もゴーヤの成長を見て話題にして和んだり、夏の定例行事として暑い日の息抜きになっていくようです。

(阿)

